

ゆり組

うさぎさんもウコッケイさんも、チャボさんも触れるよ！

動物が大好きな A ちゃんが、飼育小屋に入って生き物たちとよく触れ合うようになり、たくさん子どもたちが飼育小屋に行くようになりました。チャボの『ごましおちゃん』の背中を抱いた B ちゃんは「わたし、抱っこできた！」と感嘆の声。うさぎさんにあげた葉っぱをいつも端っこからつまんでいる鳥さんたちに、野菜をちぎってあげたら喜ぶかも、と提案すると、小さく小さくちぎってお皿へ。それをチョンチョンと鳥たちがつまんでくれるので、子どもたちもじっと見つめます。C ちゃんは「土のところに置くほうがよう食べるで」と自分で感じたことをみんなに話します。友達に刺激を受けて、子どもたちの動物さんたちへの思いがぐっと深くなり、よくかかわるようになりました。

お兄さん、お姉さんになりました…。

1 年間、遠足などで活動する、ばら組との縦割り活動のペアを子どもたちに伝え、歓迎のプレゼントをつくって贈ることにしました。絵をかいたり、ホイル紙を貼ったりして飾りながら、D ちゃん「(相手が)男の子だから、これ(キャラクター)かいた。」E ちゃん「もう僕名前覚えたよ。〇〇ちゃんでしょう？」と、相手への思いをもってつくる姿がありました。新入生お招き会では、ゆり組からばら組の子どもたちを一人ずつ呼んで、プレゼントを渡しました。ばら組さんの「ありがとう」に何とも言えない照れくさそうな表情で、自分の席に戻っていくゆり組さん。一緒にダンスを楽しみ、ばら組までエスコートしました。

みんなでやってみよう！

好きな遊びの時間、サッカーをしていた F ちゃんが「先生、一回みんなでサッカーやりたいわ」と話しました。「そうかあ、いっぱいの人でやったら楽しいかもね」と、降園前の時間、みんなで遊ぶひとときにサッカーをすることにしました。ピブス(ゼッケン)を着て、大きなコートを引いて、ゲーム開始。普段好きな遊びではサッカーをしない子どもたちも、時々仲間に入っていた子どもたちも、一心にボールを追います。試合が終わり、G ちゃん「もっとやりたかったわー」H ちゃん「明日もやろう！」と楽しかったことを伝えてくれました。

ばら組の学年末に楽しんでいたりレーも、子どもたちが「帰る前にやろう」と話しました。片付けが終わるころ、「そや、線引いとかなあかん」と I ちゃん。ライン引きを仲間と一緒に持ち、ガラガラと引っ張って一周。そしていつもバトン交代する場には、人が入れる四角がふたつ。「すごいな、自分たちで用意できたなあ」と思わず言いたくなる、一生懸命な線！その線でリレーを楽しみました。

進級して園庭に出る日、「帽子は白やでー！」とみんなに伝える姿がありました。どの子どもたちもきっと、年長になることを意識し、楽しみに思いつつ、緊張もしているだろうなと思います。年長さんとしての誇らしさはもちつつ、ありのままの一人一人でいていいんだよ、とも思っています。それぞれの心の動きをみとりながら、これまでと同様、やってみたいことに全力で向かっていけるよう、そして、みんなと過ごす楽しさも味わってほしいと願っています。



そっとなでよ



食べてるわあ



手と手を
ボンボン♪

